



2026年 5月 7日

各 位

会社名 ReYuu Japan株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO
重富 崇史
(東証スタンダード：9425)
問合せ先 執行役員 企画管理部長
武本 遼祐
電話番号 03-6230-9388
U R L <https://www.reyuu-japan.com/>

Super Micro Computer, Inc. との業務提携に関する 覚書 (MOU) 締結のお知らせ

当社は、2026年4月27日付で社長決裁を行い、Super Micro Computer, Inc. (以下「Supermicro 社」といいます。) との間で、AI インフラ事業に関する業務提携に向けた検討を目的とした覚書 (Memorandum of Understanding、以下「本 MOU」といいます。) を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本 MOU 締結の理由

近年、生成 AI や大規模言語モデル (LLM) の急速な普及に伴い、AI の学習および推論処理を支える GPU サーバーを中心とした AI 計算基盤の需要が世界的に拡大しています。AI 開発企業、研究機関、クラウド事業者などを中心に、高性能 GPU サーバーを活用した AI 計算基盤の整備が進んでおり、こうした AI 計算基盤を中核として構成される AI インフラは、今後のデジタル社会を支える重要な基盤の一つとなっています。

Supermicro 社は、高性能コンピューティング (HPC) および AI 向けサーバー分野において世界的に高い実績を有するサーバーメーカーであり、GPU サーバーを中心とした AI インフラ向け製品をグローバルに展開しています。

当社はこれまで、通信機器・IT 機器のリユース事業を中心に事業を展開してまいりましたが、AI 市場の拡大と AI 計算基盤の需要拡大を背景に、AI インフラ分野への事業拡張の可能性について検討を進めております。

本 MOU は、当社が AI 時代における新たなインフラ領域への事業機会を模索する取り組みの一環として締結するものであり、Supermicro 社との協業を通じて、GPU サーバーを中心とした AI 計算基盤の活用および AI インフラ関連ビジネスの可能性について検討を進めてまいります。

2. 本 MOU の内容

本 MOU に基づき、当社と Supermicro 社は、AI インフラ分野における将来的な事業機会の創出を目的として、主に以下の事項について検討を進めてまいります。

(1) AI サーバーおよび AI インフラに関するビジネスおよび技術ノウハウの共有

AI サーバー (GPU サーバーを含む) を中心とした AI 計算基盤に関する技術動向、市場動向、事業モデル等について情報共有を行い、両社の知見を活用した AI インフラ事業の可能性につ

いて検討を行います。これにより、日本市場における AI インフラ関連ビジネスの創出および拡大を目指します。

(2) Supermicro 社製 GPU サーバーを活用した AI データセンター事業への参入可能性の検討

当社は、Supermicro 社が提供する GPU サーバーを活用した AI 計算基盤の構築を視野に、AI データセンター事業への参入可能性について検討を進めます。AI 開発、生成 AI、機械学習、高性能計算 (HPC) などの用途を想定し、日本国内における AI 計算基盤の提供に関する事業機会について両社で協議を行います。

(3) 日本市場における AI サーバーおよび関連インフラの販売・事業展開に関する協力の検討

両社は、日本市場における AI サーバーおよび関連インフラの販売、導入支援、運用支援等に関する協力の可能性について検討を行います。また、AI サーバー市場の拡大を見据え、AI インフラのライフサイクルに関連する事業機会についても検討を進めてまいります。

なお、本リリースにおける「AI インフラのライフサイクル」とは、AI サーバーおよび関連インフラの導入、運用、更新、再流通など、AI 計算基盤に関わる一連のプロセスを指します。

AI インフラ分野では、GPU サーバーを中心とした高性能コンピューティング機器の性能向上が非常に速いサイクルで進んでおり、新世代 GPU の登場に伴い既存設備の更新が比較的短期間で行われる傾向があります。そのため、AI インフラは機器の導入や運用のみならず、更新や再流通を含めたライフサイクル全体で市場が形成されていくことが想定されています。

当社はこれまで情報通信機器のリユース事業で培ってきた知見を活かし、AI インフラの導入・運用段階だけでなく、機器の更新や再流通を含めたライフサイクル全体に関わるビジネス機会についても検討を進めてまいります。

3. 本 MOU の相手先の概要

(1) 名 称	Super Micro Computer, Inc.			
(2) 所 在 地	980 Rock Avenue, San Jose, CA 95131, USA			
(3) 代表者の役職・氏名	President and CEO Charles Liang			
(4) 事 業 内 容	AI・クラウド・データセンター向けサーバー、ストレージ、ネットワーク機器および総合 IT ソリューションの提供			
(5) 資 本 金	2,866 百万米ドル (2025 年 6 月 30 日現在)			
(6) 設 立 年 月 日	1993 年 9 月			
(7) 大株主及び持株比率	Charles Liang & Sara Liu 13.5%、The Vanguard Group 10.4%、BlackRock, Inc. 7.0% (2025 年 7 月 31 日現在)			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 (1 米ドル=157 円で換算)				
	決算期	2023 年 6 期	2024 年 6 期	2025 年 6 期
連 結 純 資 産		1,972 百万米ドル (309,604 百万円)	5,417 百万米ドル (850,469 百万円)	6,302 百万米ドル (989,414 百万円)
連 結 総 資 産		3,674 百万米ドル (576,818 百万円)	9,826 百万米ドル (1,542,682 百万円)	14,018 百万米ドル (2,200,826 百万円)
1 株当たり連結純資産		3.73 米ドル (586 円)	9.21 米ドル (1,446 円)	10.61 米ドル (1,666 円)
連 結 売 上 高		7,123 百万米ドル (1,118,311 百万円)	14,989 百万米ドル (2,353,273 百万円)	21,972 百万米ドル (3,449,604 百万円)

連結営業利益	761 百万米ドル (119,477 百万円)	1,210 百万米ドル (189,970 百万円)	1,222 百万米ドル (191,854 百万円)
連結経常利益	754 百万米ドル (118,378 百万円)	1,214 百万米ドル (190,598 百万円)	1,211 百万米ドル (190,127 百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	639 百万米ドル (100,323 百万円)	1,152 百万米ドル (180,864 百万円)	1,048 百万米ドル (164,536 百万円)
1 株当たり連結当期純利益	1.21 米ドル (190 円)	2.07 米ドル (325 円)	1.77 米ドル (278 円)
1 株当たり配当金	－米ドル (－円)	－米ドル (－円)	－米ドル (－円)

4. 日程

(1) 社長決済日	2026年4月27日
(2) 契約締結日	2026年4月28日
(3) 事業開始日	本 MOU は業務提携に向けた検討を目的とするものであり、現時点で具体的な事業開始時期は未定です。

5. 今後の見通し

当社は、本 MOU に基づき Supermicro 社との協議を進め、AI インフラ分野における新たな事業機会の創出について検討してまいります。特に、GPU サーバーを活用した AI 計算基盤の提供や AI データセンター事業の可能性について検討を進めるとともに、日本国内における AI インフラ需要の拡大に対応したビジネスモデルの構築を目指してまいります。

なお、本 MOU が当期業績に与える影響は軽微です。

以上